

皮膚・皮下腫瘍切除術同意書

注射の局所麻酔をした後、皮膚を直線あるいは紡錘形に切除し、縫合します。

1～2週間で抜糸します。抜糸後はテープを貼って頂きます。

テープを貼る期間は状態により異なります。

(1～6ヶ月のことが多いです)

抜糸後は特に処置は必要ありませんが、紫外線に当たると傷跡が目立ちやすくなりますので、テープを貼るか、日焼け止めを用いて紫外線に当たらないようにして下さい。

日焼けにかかわらず傷跡はしばらく目立つ場合があります。落ち着くまで半年～1年かかることもあります。ただし、最終的に傷跡が消えることはありません。

病理組織検査の結果が悪性であった場合は、再手術あるいは他院への紹介となる場合があります。

合併症

出血・・・止血が必要になることがあります。

感染・・・傷が治るまで時間がかかったり、傷跡が目立ってしまうことがあります。抗生剤の内服を追加したりすることがあります。

傷跡のひきつれ・・・様々な原因により、傷跡がひきつれて残ってしまうことがあります。再手術が必要になる場合があります。

ケロイド・肥厚性瘢痕・・・傷跡が盛り上がり残ることで、ステロイドという薬剤を注射することにより盛り上がり減らすことはできますが、複数回の処置が必要です。再手術を行うこともあります。

色素沈着・・・最終的に傷跡の色が濃く残ってしまうことがあります。

再発・・・再手術が必要です。

当院における診療情報(年齢、性別、病歴、治療経過、写真など)を、学会・論文等の研究、ホームページなどの広告、他の患者様に参考として見せることなどに使用することを (同意します ・ 同意しません) もろろん、個人情報の保護には厳重に配慮いたします。

上記について説明を受け、理解したうえで治療することに同意します。

年 月 日

本人 住所

氏名 _____

保証人 氏名 _____